

越谷市の籠染灯籠

世界へ

このたび、越谷市の「籠染灯籠」が「日本の誇るべき地方産品」のひとつとして選定され、世界各地でPR、販売されることとなりました。

問 産業支援課 ☎ 967114680

籠染灯籠とは

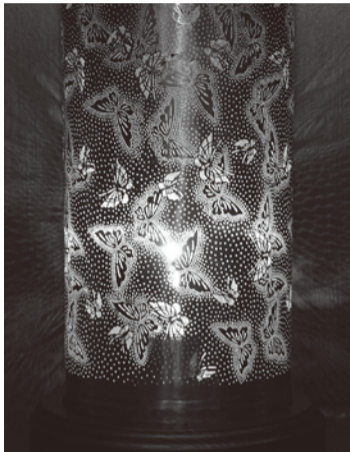
籠染めは、しんちゅう製の筒状の型(籠)を使って、2つの籠の間に浴衣生地を送り、生地を表と裏に異なる柄を同時に染めることができる藍染めの技法です。越谷市の中野形染工場(大間野町1の57の1)は国内で唯一残ったこの藍染めの技術で、浴衣染色を行ってきました。

この中野形染工場が使用していた籠を活用し、地域活性化を目指そうとデザイン会社のHANABUSA DESIGN(花田5の17の11)がプロデュースした灯籠が「籠染灯籠」です。

実際に使用された籠を活用した灯籠のほ



右から中野形染工場の中野留男さん、康子さん、HANABUSA DESIGNの花房茂さん



淡い幻想的な光を灯します

今年5月、経済産業省が「The Wonder 500TM(ザ・ワンダーファイブハンドレッド)」というプロジェクトをスタートしました。これは、世界にまだ知られていない、日本が誇るべき優れた地方産品を選定し、海外に広く伝えていくことを目的としたもので、8月に全国から推薦・応募された約1900の製品の中から500製品を選定しました。その

500品中、埼玉県は2品が選定 そのひとつに籠染灯籠が選ばれた

か、オーダーメイドでの籠の製造も行っており、オリジナルの籠染灯籠を作ることができます。
*詳しくは左記二次元コードから HANABUSA DESIGN Nホームページをご覧ください



デザインがそれぞれ異なる籠染灯籠

世界に向けて

ひとつに越谷市の籠染灯籠が選ばれました。埼玉県では、籠染灯籠のほか、川口市の「HONEYXシェイピングクリーム」が選定されています。

今後、籠染灯籠をはじめ、選定された製品は、日本各地での展示会や交流イベントなどを経て、パリや香港、ニューヨークの展示会などでのPRが予定されています。
*籠染灯籠は、「しがやブランドショップ」で販売しています。詳しくは3面をご覧ください
*テレビ広報番組「いきいき越谷」8月放送で、籠染灯籠を紹介しました。過去の放送はYouTubeからご覧いただけます

民間事業者との協働発行

市民ガイドブックを「活用ください」

企業・団体等から広告掲載にご協力いただき発行しました

市では、市内の見どころのほか、行政サービスの内容や各種手続きなどをまとめた「しがや市民ガイドブック2015」を民間事業者(株式会社サイネックス)と協働で発行しました。これは、同社が行う広告事業により、市が経費を負担せずに行うものです。また、多くの企業・事業所・団体などから冊子への広告掲載という形で協力をいただいています。10月中旬に、ご家庭の郵便受けなど(店舗や事務所等は除く)にお届けしましたので、届いていない場合は、下記へ



お問い合わせください。
問 広報広聴課 ☎ 963119117

12月1日 老人福祉センターひのき荘がオープンします

12月1日(火)、市内で4カ所目となる老人福祉センターが川柳町二丁目に開所します。施設の詳細については、広報しがや季刊版冬号(12月15日発行)に掲載します。

〈テーマ〉 いきがいと交流
〈所在地〉 川柳町二丁目507番地1
〈構造〉 鉄筋コンクリート造2階建て



〈延床面積〉 2352平方メートル
〈利用対象者〉 原則として市内在住の60歳以上の方。初めて利用される方は、使用証を発行しますので運転免許証、保険証等をお持ちください
〈利用時間〉 午前9時30分～午後4時
〈休館日〉 火曜日(火曜日が祝日の場合、その翌日)、年末年始
▽利用料: 市内在住の60歳以上

内覧会のお知らせ

12月24日(火)～26日(木)、午前9時30分～午後4時 無料(申込み要)のき荘へ
*ごなたでも参加できます
問 福祉推進課 ☎ 963119237、越谷市社会福祉協議会 ☎ 966113411

越谷市 地域包括支援センター 越谷なごみの郷が ひのき荘に移転します

12月1日(火)から、越谷市地域包括支援センター(越谷なごみの郷(川柳町3の60の1))が、老人福祉センターひのき荘の中に移転します。移転に伴い、名称が「越谷市地域包括支援センター(川柳・大相模)」に変更されます。なお、電話番号は変わりません(☎ 99010753)。

